

# タイ王国 バンコク都電動バス導入事業（CF融資）



## 首都バンコクの大気汚染軽減と都市環境の改善に貢献

### 事業概要

本事業はタイ王国バンコク都において環境負荷の低い電動バスの製造、公共バス事業への導入及び運営を担う事業者（Energy Absolute Public Company Limited、以下EA）への融資を行い、大気汚染物質・CO2の排出抑制と都市部の公共交通システムの拡充を図り、もって都市環境の改善に寄与するもの。

### 本事業のポイント

#### 1. バンコク都に環境負荷の低い電動バスを導入

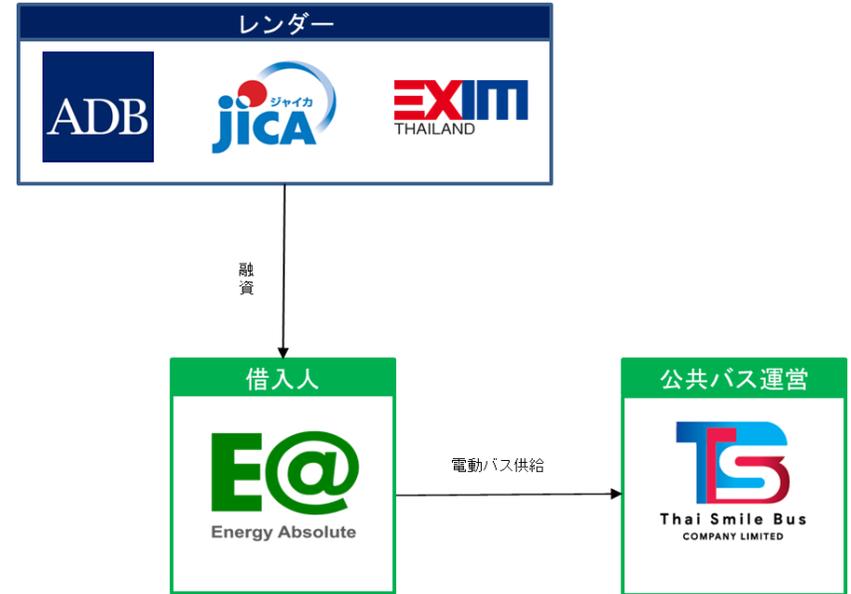
バンコクでは大気汚染に代表される都市公害問題が年々深刻化。路線バス事業者が現在保有している約3,500台の車両の多くが経年車で燃費効率が悪く、大気汚染の一因となっている。本事業において環境負荷の低い電動バスを導入することにより、気候変動対策・大気汚染抑制及び都市環境の改善に貢献。

#### 2. 公共交通機関や他交通モードの電化普及を期待

タイ国内の代替エネルギー分野におけるリーディングカンパニーである借入人による公共交通バスの電動化事業を支援することにより、今後のバンコク都における公共交通機関の電動化や他交通モードの電化普及への波及が期待される。

#### 3. バンコク都における総合的な都市開発に寄与

JICAは本海外投融資事業の他、円借款による都市鉄道の整備事業や、都市内交通整備計画の策定、PM2.5等大気汚染の効果的な予防・軽減に関する技術協力事業等を通じ、クリーンな公共交通整備と大気汚染対策による総合的な都市問題改善に寄与している。



バンコク都を走る電動バス